

大分教育事務所訪問②-71 (計144)

大分市立神崎小中学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「豊かな心と絶え間ない実践力の育成」を達成するために、9年間の見通しをもって計画を定め、教職員の取組状況や子ども達の達成状況をもとに、改善方策を定めながら実践を行っています。

本校の注目すべき点は、育成を目指す3つの資質・能力について、それぞれ3つのじりつ（学びの自立、生活の自律、生き方の而立）という目標を定めることで、それぞれの取組が、なんのためにやっているのかという目的を意識させていることです。

今後は、達成指標は期待すべき子どもの変容を数値化すると共に、それぞれの取組指標は、期間を決めて行ったりある程度達成した内容については廃止したりすることで、それぞれの取組がより焦点化され、9年間を見通した段階的、継続的な実践になると思いました。

また、本校が育成を目指す（教科横断的な）資質・能力を、協議の時に話題になった「言語能力」と定めてみてはいかがでしょうか。このような上位目標を決めることで、行事などを企画する際に、目的の共通理解が行われやすくなり、実際の方法や手段は担当者に任せることができます。そのことで、担当者の当事者意識が高まり、それぞれの担当者による協働的な新たなアイデア生まれ、より効果的、効率的な実践へとつながるとが期待されます。

参考資料「小学校学習指導要領解説 総則編 pp47-53 2教科等横断的な視点に立った資質・能力 ア 言語能力

授業から学ぶ

7, 8, 9年生の授業を参観させていただきました。先生方は確認すべき事を一つ一つを押さえながら大変丁寧に授業を進めていました。これからは、学び合い等を取り入れる等生徒に任せるといった場を増やすと、学びの自立へとつながると思いました。

今後は指導案を作成する際、「振り返り」を教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にして表記してみてもいかがでしょうか。教師が考えた「振り返り」と生徒が実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善が推進されると思いました。



NO.639 2021年12月 大分市立神崎小中学校

本気の視線

どんなことでも、本気でやってみると、これまで見えなかったものが見えてくる。



NO.638 2021年12月 大分市立神崎小中学校

課題を発見

シミュレーションソフトで繰り返し観ることで、課題が発見できる、問いがみつかる。



NO.637 2021年12月 大分市立神崎小中学校

自然に学び合い

学び合うことで、相手の良さだけでなく、自分の価値も発見できる。